

模擬面接の実施から分かる自分の姿

求人応募～面接においては、その企業の業界・業種研究のみならず、その企業の特性にも十分に注意を払い、応募の準備を行ない、面接対応を行うことが、より良い結果につながるポイントだといえます。

求人応募の本来の姿は、求人側も求職側もお互いが平等の立場でお互いを見極めることにあります。が、実際上は、求職者側が各企業に応じたセルフプロモーションを実施していくものと踏まえたいものです。

企業規模(上場・非上場・大手・中小企業等)
業界・職種の特性
会社毎の特性(イズムや価値観・社歴・社員平均年齢)

これらの諸条件によって、企業側の採用ポイントにも違いが生まれることを踏まえる必要があります。

採用選考の流れ
面接内容
働き方(求められる人物像・期待される能力発揮の仕方 等)

これらの点を十分に認識して、服装・化粧・応募書類作成・面接対応等については、一律的な対応を行うのではなく、各企業に応じた対応を心掛け、1度きりの面接機会を最大限に活かし切ることが大切だといえます。

模擬面接では、アプローチ先の業界・業種・企業そのもの等の詳細の情報があればあるほど、キャリアカウンセラーもこれに応じることが出来、より精度の高い経験を踏むことが可能になります。企業特性等は、インターネット等を最大限に活用し、出来る限りの情報収集を実施したいものです。

備えあれば憂いなし！・・・ですね！